

[PRESS RELEASE]

2006年12月4日
東京大学医学部・附属病院

『東京大学医学部と東大病院の歩み』写真展開催のご案内
～ 東京大学医学部 150 周年記念事業 第一弾 ～

このたび、東京大学医学部と東大病院(*1)は、150周年記念事業(*2)の第一弾として、『東京大学医学部と東大病院の歩み』と題し、写真展を開催することとなりました。

東京大学医学部と東大病院の創立は、明治維新を迎える10年前の安政5年(1858年)、神田お玉ヶ池に設置された種痘所にさかのぼります。明治期からの貴重な卒業アルバムを中心とした300点に上る写真と、その写真を元に関連資料の調査を経て、この度写真展を開催することとなりました。

展示場所は、医療関係者の往来が多いことを考慮し、今年9月にオープンした中央診療棟2(*3)の1階、地下1階の廊下で行っております。日本の医学史とも重なる部分の多い貴重な写真の数々をぜひご覧ください。

【開催概要】

開催場所： 中央診療棟2（1階、地下1階）

開催時間： 9:00～17:30

プログラム： 第一部：2007年1月中旬まで（明治初期から関東大震災）

第二部：2007年2月を予定（震災後復興から太平洋戦争、戦後復興、
大学紛争、病院再開まで）

【背景】

2008年5月に東京大学医学部と東大病院150周年を迎えます。その記念事業の一環として、過去の文献・写真などの整理を始めており、このたび貴重な卒業アルバムを元にした写真展を開催することとなりました。

東京大学医学部と東大病院の創立は、安政5年(1858年)に神田お玉ヶ池に設置された種痘所にさかのぼります。種痘所は、第13代将軍徳川家定の治療にあたるなど、幕府の西洋医学所とともに、わが国における近代医学導入の窓口となりました。明治維新後は幕府から新政府へ移管され、大学東校、東京医学校などと名称を変え、明治10年(1877年)に東京大学医学部となりました。まさに東京大学医学部と東大病院は日本の近代化とともに歩んできたと言えます。

本学の医学図書館には明治36年(1903年)以来の卒業記念アルバムが保存されています。欠損するアルバムもあり、また写真に残された世界も東京大学医学部と東大病院の一面に過ぎませんが、若い医学生の眼に映った当時の光景は、現在の医療と医学教育にたずさわる者にとつ

だけでなく、次の時代の医療、教育、病院運営を考える上で貴重なヒントを与えてくれます。

写真展では、明治初期から関東大震災までを第一部、震災後復興から太平洋戦争、戦後復興、大学紛争、病院再開までを第二部としてご紹介いたします。展示写真から時代と世相の変化も感じとっていただければ幸いです。

【写真1】

明治33年頃の旧医学部本館で、東京帝国大学アルバムに掲載されている写真です。この建物は明治12年(1879年)に医学部本館として竣工し、明治天皇のご臨席のもとに開業式が行われました。当初は予科、内科、外科などの講義が行われていましたが、教室が整備されるようになると、眼科、産婦人科、耳鼻科などの外来として利用されました。明治43年(1910)に取り壊されて赤門脇に移築、史料編纂掛として使用されました。その後、昭和35年(1960)頃まで営繕課が使用しました。時計台の部分は改造されましたが、東京大学最古の建築物として、また国の重要文化財として現在も小石川植物園に保存されています。



東京大学 総合図書館所蔵

【写真 2】

明治 43 年頃の外科病室と馬車。馬の覆いの紋章は、ベンツではなく山内侯爵家の三ツ柏です。
(明治 44 年卒業アルバム)



東京大学 医学部図書館所蔵

【写真 3】

南新門(現在の龍岡門)と外来診察所で、明治 43 年(1910)頃の撮影です。外来診察所は明治 42 年(1907)に竣工しました。関東大震災では被害を受けませんでした、昭和 4 年(1929)6 月に火災を起こし、前面を部分解体されました。



東京大学 医学部図書館所蔵

【病院長 永井良三のコメント】

東京大学医学図書館には学生の卒業アルバムが多数保存されています。現存する最も古いアルバムは明治36年(1903年)ですが、明治35年(1902年)の卒業生が最初に作成したという記録があります。また、明治34年(1901年)の卒業生は卒後10年目の明治44年にアルバムを作りました。その後、競うように立派なアルバムが毎年作成されました。ただし寄贈されなかったり、紛失したためか、アルバムは学年によって欠落があります。とくに太平洋戦争や大学紛争のさなかには作成されていません。それでもこれらのアルバムに残された写真をたどることにより、医学、医療、医学教育、キャンパス再開発に関する貴重な歴史を明らかにすることができます。

東京大学には卒業アルバム以外にもいくつかの重要なアルバムが残されています。明治33年(1900年)東京帝国大学アルバムは、当時ロンドンで開催された万国博覧会に日本の発展を示すために作成されたものです。このアルバムにも医学部と東大病院の当時の姿がたくさん記録されています。明治37年(1904年)にも同様のアルバムが作成されました。当初の医学部卒業アルバムにはこれらの帝国大学アルバムの写真が多数引用されました。明治33年以前の公式なアルバムはありませんが、明治初期から卒業時などに個人的に記念写真を撮影することは広く行われていたようです。

卒業アルバムには、これからの医学教育、診療、病院再開発に参考となる情報がたくさん含まれています。また、医学、医療に対する先人の意気込みが伝わってきます。関東大震災までの本郷キャンパスは、まさに司馬遼太郎の「坂の上の雲」の時代であり、日本の青春時代にあたります。東京大学医学部と東大病院が、日本の近代化とともに歩んできたことが改めて実感されます。

【注釈】

*1. 東京大学医学部・附属病院

〒113-8655 文京区本郷 7-3-1 <http://www.h.u-tokyo.ac.jp/>

医学部長 廣川信隆

病院長 永井良三

*2. 東京大学医学部・附属病院 150周年

2008年5月に医学部・附属病院は150周年を迎え、それに向けた各種記念事業を企画中です。今回は、150周年記念史の刊行に向けた資料整理の中で、貴重な写真が多数見つかったため、第一弾として写真展を開催することといたしました。

*3. 中央診療棟 2

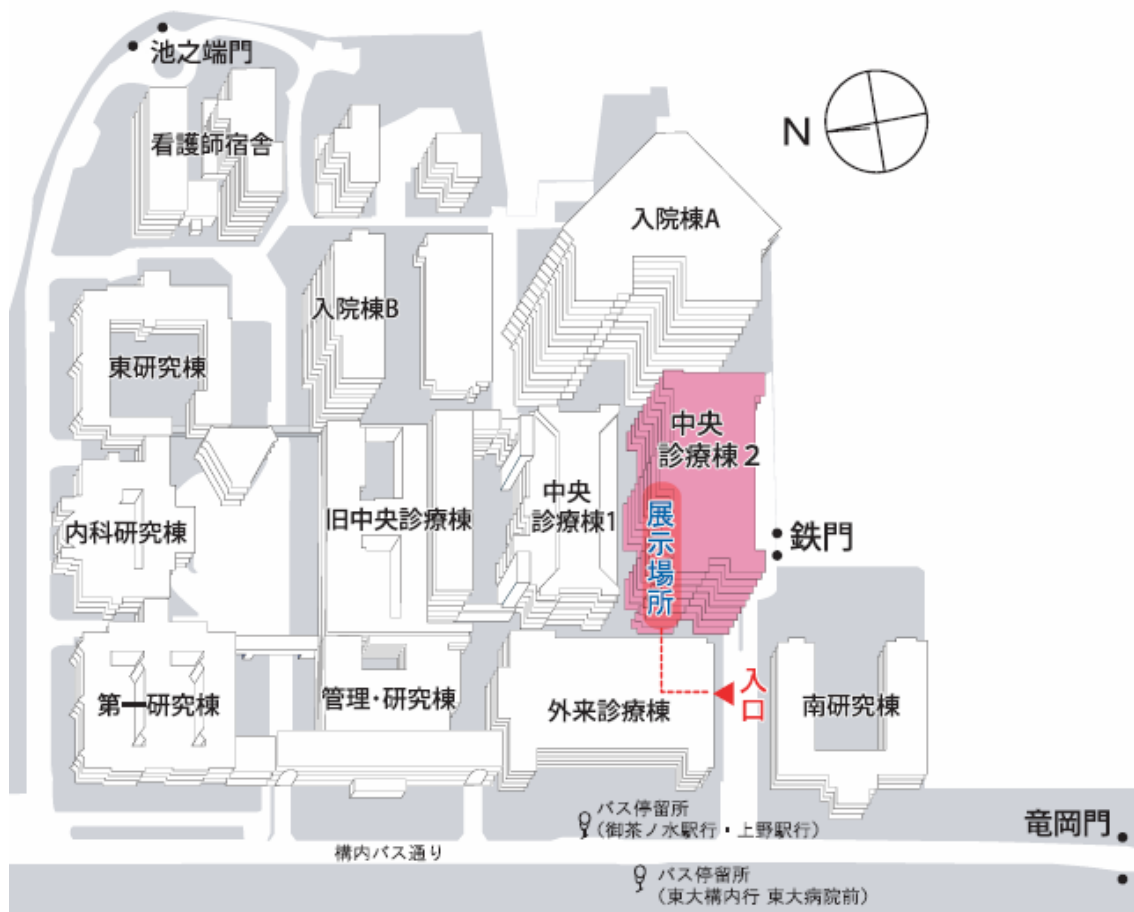
竣工:2006年9月 面積:約30,000 m²

1. 診療部分(地下3階~地上7階)

手術室、放射線診断・治療、生理検査、周産母子、リハビリテーション、病理検査、組織バンク、CPC など

2. 22世紀医療センター(地上8、9階部分、約6,000 m²)

予防医学・健康関連サービス研究/事業 治験研究/事業 創薬関連研究
医療関連教育研究/事業 インキュベーション事業 その他、医療サービスの研究/開発など



(取材・本件に関するお問合せ先)

東京大学医学部附属病院 広報企画部

電話: 03-5800-9188 (直通) E-mail: pr@adm.h.u-tokyo.ac.jp

* 写真を掲載される場合は、広報企画部にご一報ください。
